



### スタビライザー2モデルとお薦めの対策効果を検証 フルテックの4つのアイテムで アナログレコードから感動の音を引き出す

何をしても音が変わるアナログレコード再生。優れたアクセサリ製品を適正確実に導入すると、同じ盤と同じ機器で“ここまで変わるとは!”と驚くほどに、表現力などをグンと向上させることができる。せつかく聴くならば、より深い感動を。フルテックの好評アイテム達による、実際の音への効果を探ってみよう。

Text by  
**生形三郎**  
Saburo Ubukata  
Photo by 田代法生



#### FURUTECH The Roxy

電源ケーブル ¥29,700 / 1.5m(税込) ③

#### NCF Booster-Signal-L

ケーブルスタビライザー ¥16,280(税込) ④

#### FURUTECH Monaco LP Stabilizer

ディスクスタビライザー ¥32,780(税込) ①

#### Monza LP Stabilizer

ディスクスタビライザー ¥52,360(税込) ②

好評のアクセサリ達で  
音質の魅力をアップしよう

オーディオアクセサリブランドとして、高い人気を誇るフルテックのアイテム。とりわけ、電源ケーブル用IECコネクターは国内外のケーブル製品に採用されるほか、近年では独自素材NCFを用いたBoosterシリーズが高い人気を集めている。ここでは、ディスクスタビライザー2モデル、電源ケーブル、そして電源ケーブルやフォノケーブルの支持にも使えるNCF Booster Signal-Lによる音質アップを検証したのでレポートする。

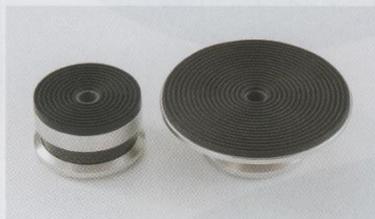
●ディスクスタビライザー  
音楽本来の魅力を引き出す  
サイズと質量の異なる2種

まずは、スタビライザー、「Monza LP Stabilizer」と「Monaco LP Stabilizer」だ。両者はともに、磁性体であるステンレスブロックの削り出しに、カーボンファイバー素材を組み合わせたハイブリッド構成を基本とし、ディスク接地面に制振シートを、スピンドル受け部分にも特殊樹脂を配置して制振するという念な構成だ。

ディスク接地面の制振シートには、セラミックパウダーとカーボンパウダーが調合されており、セラミックが振動を電荷に変換してそれをカーボンで吸収する、ピエゾ効果(圧電



Monaco LP Stabilizer(左)とMonza LP Stabilizer(右)。いずれも非磁性体ステンレスブロックの精密削り出し、制振効果の高いカーボンファイバー仕上げの2段構造。ディスクのみならずターンテーブルの振動をも効果的に吸収できる



レーベル密着面に対しては、高性能制振シートに同心円状のスリットを設け、カートリッジからの共振を防止。スピンドルホールには摩擦抵抗を軽減させる特殊樹脂材を採用



The Roxlyは、アナログ的なピラミッドバランスを再現し、引き締まった低域の力強さ、音の温かみとライブ感の後押しを目指した電源ケーブル。適度なケーブル太さとスリムな端子で扱いやすい



NCF Booster-Signal-Lは、シリーズ中で最も低い位置の電源や信号ケーブル類を支持し、静電除去効果と防振効果でS/Nを向上。音楽再生に大切な帯域伸張や間接音成分を引き出す

**歪みなく澄んで心地良い音  
厚みや迫力エネルギー追求に**

今回の全ての試聴は拙宅のシステムで行い、ラックスマンPDI17IALにSME3010Rを組み合わせたプレーヤーを使った。Monacoを載せて試聴すると、背景

効果)を利用した同社独自の「aピエゾ・システム」が採用されている。両者の違いは形状と重量で、直径45mmで210gの小ぶりなMonaco、一方のMonzaはディスクとの設置面に向け末広がり形状にシエイブされた直径79mmで350gとなっている。重さや形状ももちろんだが、設置面の制振シートの大きさや、そこに刻まれたスリットの数も異なり、小型のMonacoの方がシート部が若干厚く、触った感触では弾性も少しだけ高いなど、それぞれに最適化された設計となっていることが推察できる。よって、当然両製品から得られる音も異なる。

**Monaco**

**澄み渡る立体的な音楽世界  
S/Nやワイドレンジ追求に**

続いてMonzaは、重量が増すことや、盤面に接地する制振シートが大きくなるせいか、より静けさの向上効果が大きく、さらに澄みわたった音楽世界が描写される。楽器の姿が少し後方へと移行し、楽器の周囲のイメージもさらに明瞭になるなど、音像や音場の描写が立体感を増しリアルになる。先ほどの歪み感の

の静けさが増して、音の図と地のコントラストが明らかに向上し、楽器の姿がより明瞭に浮かび上がった。特に反りは無い盤ではあるが、不要振動の抑制効果か、全体的にどっしりとした、楽器のボディを感じる磐石な音に変化する。また、例えばピアノの打鍵やシンバルなど、アタック成分がやや突出し硬く聴こえていた部分が、より歪みのない澄んだ音になり、全体的に、頼もしく、心地の良い音になった。

**●電源ケーブル  
最大級の効果を得られる部分  
勢いやブレゼンスを高める**

続いて、電源ケーブルを「The Roxly」に変更する。これまでの取材で度々実感するが、ターンテーブルの電源ケーブル交換は、プレーヤー周りのアクセサリの中でも、最大級の効果が得られる部分だと筆者は認識している。

このケーブルは、スリムなインレットコネクタと取り回しの良さを重視したケーブルで、独自の超低温

減少効果も、やはりMonzaの方が高く感じた。

また、重量はMonzaの方が重いが、スタビライザーによって音楽本来の軽やかさがスポイルされない点もスマートな音質に感じた。傾向としては、S/N感やワイドレンジ感を追求するならMonzaを、音のエネルギー感や厚み、迫力を引き出したい場合はMonacoがマッチするのでは、と感じた。

**●ケーブルスタビライザー  
端子やケーブルを支持すると  
S/Nが向上し低域も磐石に**

最後に「NCF Booster-Signal-L」をセットしてその効果を探った。本品は、樹脂に独自素材NCFを配合した特殊素材による本体で、コネクタやケーブル部を保持することで、制振効果と静電効果を得るアクセサリだ。「L」という名の型番通り、低い高さで使える設計となっている。電源

処理を施したa-OFc導体に銀メッキを施した導体を採用。コネクタの電極部は、純銅に24k金メッキが施されている。ラックスマンの純正ケーブルから交換すると、中高域のブレゼンスが高い音へと変化した。例えばピアノであれば、楽器の木質的な響きがピクアップされるような、ヴォーカルであればよりドライな歌声になるような、明るく抜けるようなサウンドが楽しめる。定位やディテールを細かく追求するというより、音楽が迫ってくるかのような勢いのある音への変化を堪能できる。

**Specifications**

- 【Monaco LP Stabilizer】●サイズ:高さ28.0±0.5mm×45φ●質量:210g±5g●材質:非磁性体ステンレスブロック+高性能制振シート●仕上げ:クロスカーボンファイバー
- 【Monza LP Stabilizer】●サイズ:高さ28.0±0.5mm×79φ●質量:350g±5g●材質:非磁性体ステンレスブロック+高性能制振シート●仕上げ:クロスカーボンファイバー
- 【The Roxly】●導体:銀コーティングa-OFc導体(構成→37本/0.26mmφ×2種)、a-OFc導体(構成→37本/0.26mmφ×1種)●絶縁体:オーディオグレードポリエチレン●プラグ:FI-11M-N1(G)●IECコネクタ:FI-C15(G)(高伝導素材の純銅の上に24k金メッキ処理)●長さ変更の特注対応可能
- 【NCF Booster-Signal-L】●クレイドル:フラットタイプ●高さ設定:基本(一番低い位置での高さ)23.8mm、延長31.4mm(オプションでさらに追加可能)●ベースユニット外部サイズ:89.8×66.0mm●外部サイズ:46W×106L×23.8Hmm●質量:基本約130.5g、延長約177.5g●付属品:エクステンションシャフト×2本、固定リング×2本、特殊PU滑り止め透明マット×4個

ケーブルのコネクタの下に、若干突っ張るように挿入すると、より鮮明かつ音の勢いが増すかのような効果を感じた。S/N感が増し、ピアノの高音域の打鍵やシンバルのアタックなどが勢いを増す。さらに、付属のゴムリングを使ってケーブルをブースターへとしっかり密着させると、低域の磐石さが大きく向上した。ベースのボトムや、スネアやタムタムに張りが出るのだ。同様に、フォノケーブルの保持にも使用したが、とりわけS/N感の向上効果が明瞭であった。

以上、アイテムごとに魅力的な効果が得られたテスト結果であった。ぜひともあなたのシステム・チューニングアップにご活用頂ければ幸いです。